

2006 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;"><b>朝鮮語Ⅱ</b></p>	<p>対象学科・学年</p> <p>文学部日文 2 回生 教育教福 2 回生          文学部英米 2 回生 人間人社 2 回生          文学部教福 2 回生          文学部文財 2 回生          文学部コミ 2 回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">竹谷 俊夫</p>
<p>授業テーマ</p> <p>朝鮮語を書いて覚えよう</p>		
<p>授業の概要と目標</p> <p>朝鮮語Ⅰでは、ハングル文字(한글문자)と発音(발음)、文法(문법)などの基礎を学びました。朝鮮語Ⅱでは、それらの成果を生かして、日常会話(일상회화)の習得をめざします。旅行、ショッピング、仕事、留学など、様々な場面を想定して、実際に役立つ会話を勉強しましょう。人と人との最も基本的なコミュニケーションは、何と云っても会話です。いくら、インターネットが普及しても、直接交わす会話に勝るものはありません。</p>		
<p>評価方法</p> <p>前期末試験(40%)と後期末試験(40%)及び出席(20%)をもって行う。</p>		
<p>テキスト</p> <p>『コミュニケーション 韓国語 読んで書こう1』(CD1 枚付)</p>	<p>著者</p> <p>長谷川由紀子/著</p>	<p>出版社</p> <p>白帝社</p>
<p>参考書</p> <p>『朝鮮語辞典』(조선어사전)          『ことばの架け橋』(말의 가교)          『朝鮮語入門』2(조선어입문)</p>	<p>著者</p> <p>小学館・金星共同編集          生越直樹・조 희철/著          油谷幸利/著</p>	<p>出版社</p> <p>小学館          白帝社          ひつじ書房</p>
<p>授業スケジュール・内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. ハングルの「あいうえお」—基本的な母音字母—</li> <li>2. ハングルの「あかさたな」—基本的な子音字母—</li> <li>3. ハングルの濁り音—有声音化—</li> <li>4. ハングルの「ㄹ」行—発展形の母音字母Ⅰ—</li> <li>5. 激音と濃音—発展形の子音字母—</li> <li>6. ハングルの「わ」行—発展形の母音字母Ⅱ—</li> <li>7. ハングルの「ん」と「っ」—パッチム—</li> <li>8. 発音のルール</li> <li>9. 博多大学の学生です—は、～です、～といいます—</li> <li>10. 誕生日は3月15日です—漢字語数詞と年月日—</li> <li>11. この人は家族ではありません—指し示す言葉、～が、～ではありません—</li> <li>12. 食堂の前には売店もあります—～に、～も、あります/ありません—</li> <li>13. 朝はパンを食べます—を-(し)ます—</li> <li>14. ときどき韓国語で歌も歌います—～で(場所)、～で(手段)—</li> <li>15. 友達と一緒に映画も見ると話もします—曜日、～と、(する)し—</li> <li>16. 冷麺はあまり好きではありません—(し)ない、-(する)けれども—</li> <li>17. 6時から10時までコンビニで働きます—固有語数詞、時間、～から(時間)、～まで、-(し)て—</li> <li>18. 家から学校まで15分ぐらいかかります—～から(場所)、-(する)時、-(し)て—</li> </ol> <p><b>決まり文句</b></p> <p>出会ったときは……          別かれるときは……          感謝するときは……          謝るときは……</p> <p><b>授業中の言葉</b></p> <p>ハングルで日本語を書く</p> <p><b>参考</b></p> <p>☆ノートを準備しておくこと。</p>		